

発行日 2025年2月13日

【期間：2024年10月～2024年12月】

環境経営レポート



大幸建設株式会社

目次

1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容.....	5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組 結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標 及び環境経営計画.....	7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	10

1. 組織の概要

2. 対象範囲

1. 組織の概要

1) 事業所及び代表者名

大幸建設株式会社
代表取締役 大澤 弘幸

2) 所在地

〒379-2105 群馬県前橋市東大室町 99-2

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 大澤 弘幸
環境管理責任者 : 代表取締役 大澤 弘幸
E A 2 1 事務局 : 総務部
TEL : 027-268-2216
FAX : 027-268-3590

4) 事業の内容

特定建設業 群馬県知事許可（特-2）第129号
土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道工事業

5) 事業規模

活動規模	単位	2022年	2023年
従業員数	人	12	12
延べ床面積	m ²	471	471

2. 対象範囲

1) 対象範囲（認証・登録範囲）

大幸建設株式会社 全組織及び全活動

3. 環境経営方針

基本理念

大幸建設株式会社は、事業活動を通じて社会に貢献し、地域社会にとって必要とされる企業を目指すという企業方針のもと、環境負荷の低減を図り、より良い地球環境を目指した活動に取り組みます。

基本方針

当社は、全ての事業活動において以下の環境保全活動を推進していきます。

環境への取組の重点分野

1. 継続的な環境負荷の低減、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。

- ・ 二酸化炭素排出量の削減を図り、省エネ活動を推進します
- ・ 廃棄物排出量の削減と資源の再利用を図り、省資源を推進します。
- ・ 節水に努め、水使用量の削減に努めます。

2. 環境に関する関連法規等を遵守します。

3. 環境目標・環境活動計画を定め、継続的な改善とともに環境改善を推進します。

4. 地域社会における環境保全活動に参加し、社会貢献活動に努めます。

この環境方針を当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に公開します。

2024年 9月 1日
大幸建設株式会社
代表取締役 大澤 弘幸

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）				環境経営計画（環境経営レポート対象期間）		
	項目	基準年 （実績）	2024 年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100 万円当 り二酸化炭 素排出量の 削減	2023 年度 （216.4 kg-CO2 /100 万 円）	2023 年度に対 して 1%減	○		① 空調温度適正化・表示
				○	○	② 照明・P C 電源不要時の O F F の推進
				○	○	③ エアコン清掃の実施
				○	○	④ エコドライブ推進
				○	○	⑤ 社用車の点検・整備
				○		⑥ 省エネ機器への入替を検討
					○	⑦ 建設機械アイドリングストップの徹底
				○		⑧ 電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100 万円当 り廃棄物排 出量の削減	2023 年度 （2491 kg /100 万 円）	2023 年度に対 して 1%減	○	○	① 分別ルールの徹底
				○	○	② エコバック持参の推進
				○		③ 廃棄物排出量の集計
				○		④ 裏紙使用ルールの徹底
					○	⑤ 建設リサイクルの推進
3	水使用量の 削減	2023 年度 （252 m ³ ）	2023 年度に対 して 1%減	○		① 毎月のメータを確認する（漏水防止）
				○	○	② 節水表示
				○	○	③ 増量ノズルへの交換の検討
				○		④ トイレに流水音機器設置の検討
				○	○	⑤ 節水活動の徹底
4	化学物質取 扱及び管理 の徹底	—	取扱商品の 調査	○		① 取扱商品（化学物質含有）の調査
				○		② 取扱商品 SDS 入手
				○		③ 取扱商品（化学物質含有）の結果
				○		④ 管理手順の策定（化学物質含有の場合）
5	本業に関す る目標	① ICT 施工の活用（工法の検討及び採用件数を把握する）				
		② 工期短縮				
		③ 廃棄物再資源化率の向上（再資源化率を把握する）				

* 購入電力の排出係数は、0.474kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

6. 取組内容

6-1. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節電表示



節水表示

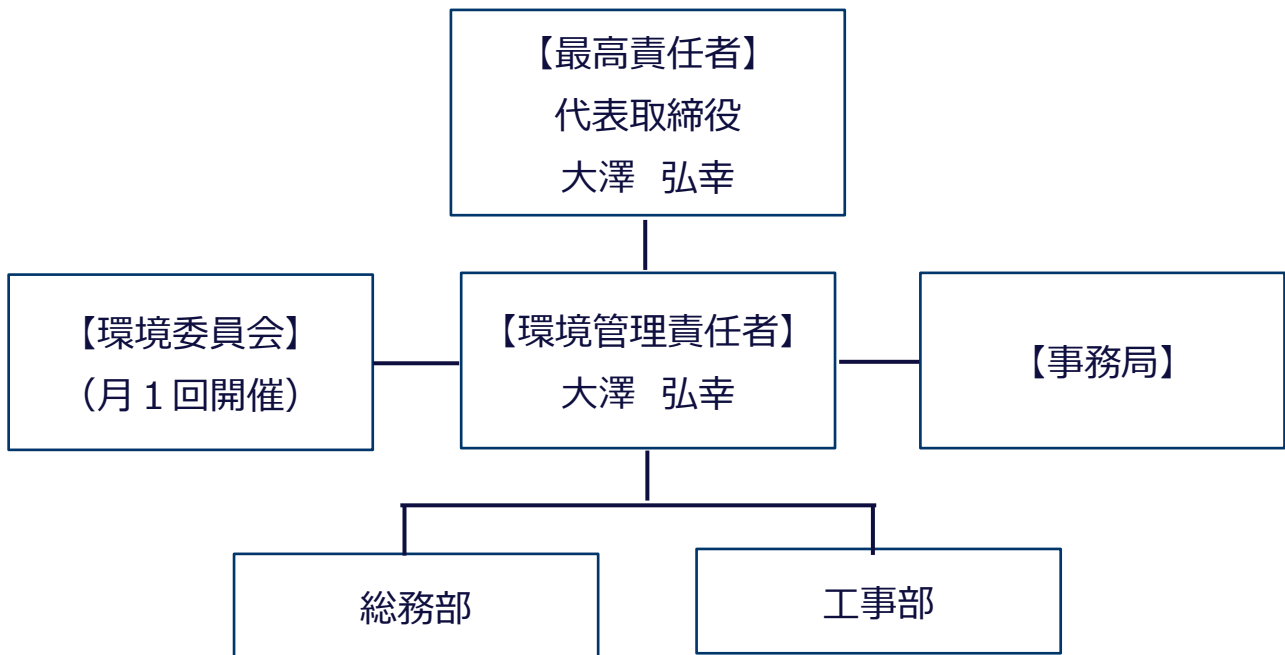


エコドライブ・アイドリングストップ・重機の省エネ



6. 実施体制

6-2. エコアクション21取組の実施体制



職名	役割
最高責任者	① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

7. 実績・取組結果・評価

環境経営目標							環境経営計画	
項目	基準年 (実績)	2024 年度 目標	2024 年度 目標値	2024 年度 実績	達成 状況	実施事項	評価	
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素排 出量の削 減	2023年 度 (216.4 kg-CO2 /100万 円)	2023年 度に対 して1%減	214.3	182.9	達成	① 空調温度適正化・表示	◎
							② 照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③ エアコン清掃の実施	◎
							④ エコドライブ推進	○
							⑤ 社用車の点検・整備	◎
							⑥ 省エネ機器への入替を検討	○
							⑦ 建設機械アイドリングストップの徹底	○
							⑧ 電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出量 の削減	2023年 度 (2491 kg/100万 円)	2023年 度に対 して1%減	2466	2989	未達成	① 分別ルールの徹底	○
							② エコバック持参の推進	△
							③ 廃棄物排出量の集計	○
							④ 裏紙使用ルールの徹底	○
							⑤ 建設リサイクルの推進	○
3	水使用量 の削減	2023年 度 (252 m ³)	2023年 度に対 して1%減	249	48	達成	① 毎月のメータを確認する（漏水防止）	◎
							② 節水表示	◎
							③ 増量ノズルへの交換の検討	△
							④ トイレに流水音機器設置の検討	△
							⑤ 節水活動の徹底	○
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商 品の調査	—	SDSを 入手し化 学物質の 非該当を 確認した。	達成	① 取扱商品（化学物質含有）の調査	◎
							② 取扱商品 SDS 入手	◎
							③ 取扱商品（化学物質含有）の結果	非該当
							④ 管理手順の策定（化学物質含有の場合）	—
5	本業に関 する目標	① ICT 施工の活用（工法の検討及び採用件数を把握する）					○	
		② 工期短縮					○	
		③ 廃棄物再資源化率の向上（再資源化率を把握する）					○	

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2023年	2024年（環境活動レポート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO2）	61,453.56	12,987.45
②廃棄物排出量(kg)	707,251	190,277
③水資源投入量（m ³ ）	252	48

7. 次年度の目標・計画

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間の次年度及び中期長期目標)						環境経営計画 (環境経営レポート対象期間の次年度)		
	項目	基準年 (実績)	2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素排出 量の削減	2023年度 (216.4 kg- CO2 /100万円)	2023 年度に 対して 1%減	2023 年度に 対して 2%減	2023年 度に対 して 3%減	○		① 空調温度適正化・表示
						○	○	② 照明・P C電源不要時のOFFの推進
						○	○	③ エアコン清掃の実施
						○	○	④ エコドライブ推進
						○	○	⑤ 社用車の点検・整備
						○		⑥ 省エネ機器への入替を検討
							○	⑦ 建設機械アイドルストップの徹底
						○		⑧ 電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円 当り廃棄物 排出量の 削減	2023年度 (2491 kg /100万円)	2023 年度に 対して 1%減	2023 年度に 対して 2%減	2023年 度に対 して 3%減	○	○	① 分別ルールの徹底
						○	○	② エコバック持参の推進
						○		③ 廃棄物排出量の集計
						○		④ 裏紙使用ルールの徹底
							○	⑤ 建設リサイクルの推進
3	水使用量 の削減	2023年度 (252 m ³)	2023 年度に 対して 1%減	2023 年度に 対して 2%減	2023年 度に対 して 3%減	○		① 毎月のメータを確認する(漏水防止)
						○	○	② 節水表示
						○	○	③ 増量ノズルへの交換の検討
						○		④ トイレに流水音機器設置の検討
						○	○	⑤ 節水活動の徹底
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商 品の 調査	取扱商 品の 調査	取扱商 品の 調査	○		① 取扱商品(化学物質含有)の調査
						○		② 取扱商品 SDS 入手
						○		③ 取扱商品(化学物質含有)の結果
						○		④ 管理手順の策定(化学物質含有の場合)
5	本業に 関する 目標	① ICT 施工の活用(工法の検討及び採用件数を把握する)						
		② 工期短縮						
		③ 廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

中長期目標については今回はほぼ達成できているため、次年度もこのまま進め、さらに1年後の達成状況を踏まえたうえで見直しの必要性を検討する。その際、環境経営計画も同時に検討するため、次年度は同じ計画を進める。

8. 環境関連法規

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証） マニフェスト交付・保存 マニフェスト交付状況報告 保管基準の順守	遵法
建設リサイクル法	計画等説明書の作成 完了報告書の作成	遵法
オフロード法	基準適合表示の確認	遵法
騒音規制法	特定建設作業の届出	遵法
振動規制法	特定建設作業の届出	遵法
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検実施	遵法

2) 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2024年10月7日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 評価の見直し・指示

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価と今後の課題と展望

活動を始めて3ヵ月と短い期間ですが、水使用量の削減など一定の効果を得ることができています。建設工事という事業の特性上、燃料の使用や廃棄物の排出量は工事の内容に大きく左右されるため、対策の効果を確認することが難しいですが、引き続き社員全体の意識を向上することで環境負荷への軽減を図っていく所存です。

また、今後はICTの活用、業務のDX化など、新たなアプローチで環境活動にも配慮した新しい組織の運営方法を積極的に模索し、地域社会や時代に求められる企業づくりに取り組んで参ります。

見直しの結果

◆環境経営方針	変更なし
◆環境経営目標・環境経営計画	変更なし
◆実施体制	変更なし